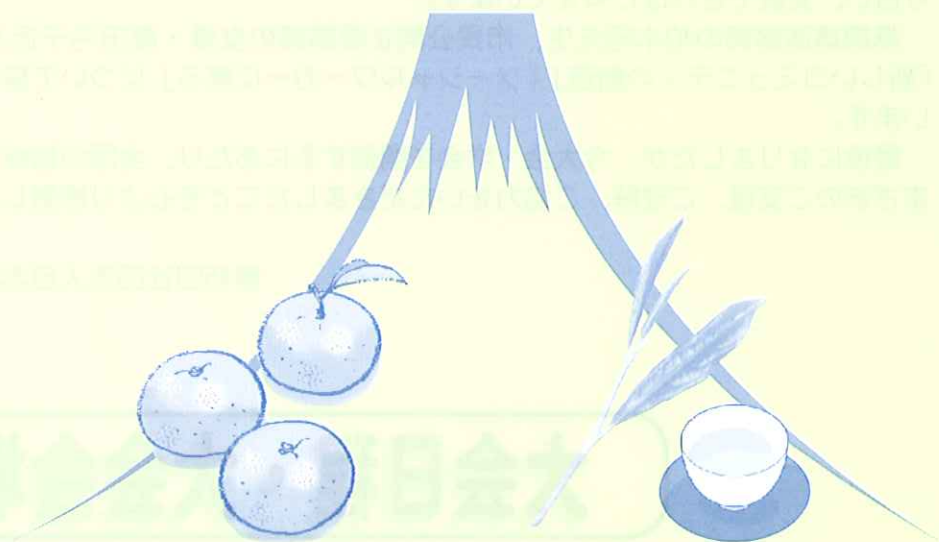


しずおか  
あおぞら

第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会  
第8回日本精神保健福祉学会

## 開催のご案内



全国大会・学会事務局  
NPO法人 ウイング・ハート  
〒420-0812 静岡市葵区古庄6-14-17  
専用電話 080-6670-4947  
E-mail shizuoka-congress09@tenor.ocn.ne.jp

# 開催テーマ

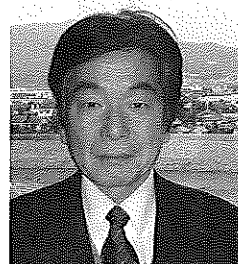
新しいコミュニティの創造をめざして

～暮らし・つながり・協働・あした～

# 開催のご挨拶

第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第8回日本精神保健福祉学会を静岡県で開催することができ、全国から会員の皆さんをお迎えすることができたことを私たち社団法人日本精神保健福祉士協会静岡県支部及び静岡県精神保健福祉士協会会員一同大変喜ばしく思っています。

静岡県では12回大会、27回大会に続く3回目の大会を迎えるに当たり、テーマを「新しいコミュニティの創造をめざして～暮らし・つながり・協働・あした～」と決め準備してきました。国家資格化11年を経過し、精神保健福祉士の活動分野は大きく広がり、それに応えるために私たちの資質の向上も強く求められています。



この大会・学会の中で「病院」「地域」というような「場」としての限定的なとらえかたから共同体という意味での「新しいコミュニティ」を創ることをめざそうと考えています。今回の分科会ではサブテーマにあるようなキーワードで16の分科会を設定しました。各地の実践を受け、会員同士が語り合い、交流できればと考えています。

基調講演講師の柏木昭先生、市民公開企画講師の女優・藤田弓子氏と佐々木敏明先生のお話で「新しいコミュニティの創造」「ソーシャルワーカーに帰る」について皆さんで考える場になればと思います。

最後になりましたが、今大会・学会を開催するにあたり、全国の皆様、県内関係機関の皆様からさまざまなご支援、ご理解、ご協力をいただきましたことを心より感謝し、お礼申し上げます。

第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会  
第8回日本精神保健福祉学会  
大会・学会長 柴山 久義

# 大会日程・大会会場

大会自主企画 2009年6月12日(金)

大会・学会 2009年6月13日(土)、14日(日)

会場 グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)  
静岡市駿河区池田79-4

# 大会プログラム

## 6月12日（金） 静岡県自主企画

12:15 13:00 16:00 16:30 17:00 18:30

受 付	自主企画Ⅰー① シンポジウム [PSWでありつづけるために]	休 憩	自主企画Ⅱー① パネルディスカッション [拡がる精神保健福祉士の活躍の場と資格法改正の関係]
	自主企画Ⅰー② グループワーク [理想と現実のはざままで]		
	自主企画Ⅰー③ グループワーク [権利擁護 ワークショップ]		自主企画Ⅱー② シンポジウム [生活をより豊かにする手帳サービスとその在り方]
	自主企画Ⅰー④ グループワーク [チャレンジ!! ケア会議]		

## 6月13日（土） 全国大会・学会（1日目）

9:00 9:30 10:00 10:15 11:45 12:45 13:30 13:45 15:00 15:30 17:30 18:00 20:00

受付	開会式	休憩	基調講演	昼食	特別講演	休憩	市民公開企画	休憩	総会	移動	懇親会
----	-----	----	------	----	------	----	--------	----	----	----	-----

基調講演：「新しいコミュニティの創造をめざして ～私たちの立ち位置の確認～」

講師：柏木昭氏（聖学院大学大学院教授・旧日本精神保健福祉士協会名誉会長）

特別講演：「精神保健福祉医療施策の現状と課題～精神保健福祉士に期待すること～」

講師：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課

市民公開企画：「地域活動を通して創造する『コミュニティ』とは？」

スペシャルゲスト：藤田弓子氏・コーディネーター：佐々木敏明氏

## 6月14日（日） 全国大会・学会（2日目）

9:00 9:30 11:30 12:30 14:30 14:45 15:15

受 付	分科会Ⅰ	昼 食	分科会Ⅱ	休 憩	閉 会 式
	① つながりの創造Ⅰ		⑨ つながりの創造Ⅱ		
	② 育つ		⑩ スクールソーシャルワークの実践		
	③ かかわりの視点を探る		⑪ かかわることを見つめる		
	④ 実践を見つめる		⑫ 実践の多様性		
	⑤ 育てるⅠ		⑬ 育てるⅡ		
	⑥ 暮らしを支える		⑭ 新しい暮らしを拓く		
	⑦ さまざまな思いを実現するⅠ		⑮ さまざまな思いを実現するⅡ		
	⑧ まちづくりⅠ		⑯ まちづくりⅡ		
	ポスターセッション				

# 自主企画

2009年6月12日(金)

## 自主企画 I

13:00~16:00 (I-④は 13:00~17:00)

### I-① PSWでありつづけるために ~なにがどこまででき、これからは…~

シンポジウム (定員250名程度)

【企画：静岡県精神保健福祉士協会】

#### シンポジスト

「精神科医療の変遷の中で」

三谷美貴子氏 (伊豆函南病院/静岡県)

「社会復帰支援の役割・機能」

相馬 妙子氏

(地域生活支援センターはたの/神奈川県)

「社会参加の促進、社会的孤立の解消」

恒任 英雄氏 (ささクリニック/青森県)

司会 菅原小夜子氏 (榛原総合病院/静岡県)

深澤 美里氏 (静岡県)

「精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・社会的活動を進める」とした「札幌宣言」から四半世紀が経ち、先人PSWが「PSWとは何か」を問い続けた活動の中から精神保健福祉士法が制定され、その後、ケアマネジメントの概念、障害者自立支援法の制定、退院促進支援事業などPSWの活動、実践の場が大きく変化してきている。

変化する実践の現場において「PSWがPSWでありつづけるために」「何を大事に、どこまででき、これからをどうして行くことが必要なのか」を各現場の報告の中から再確認、再点検しながら会場の皆さんと意見交換をしたいと考えています。

### I-② 理想と現実のはざまで ~5年以下のPSWの想い~

グループワーク (定員80名、先着順)

【企画：静岡県精神保健福祉士協会】

報告者 谷 直明氏 (沼津千本病院/静岡県)

山口 佳子氏 (ヴィラはまかぜ/静岡県)

グループリーダー 10名

対象 経験年数5年以下のPSW

定員 80名 (先着順 事前のお申込により10グループに分けさせていただきます)

内容 実践報告とグループワーク

実践報告では自分がPSWとして仕事をしてきた中で感じた理想と現実のギャップ。それに悩み、苦しんだ経験からどう乗り越えたのか、報告してもらいます。グループワークでは「理想と現実」というテーマでそれぞれの職場で抱えている悩みや不安をこの場で安心して語り合しましょう。

学校で学んでいく中でPSWとしての熱い想いと理想を描いて就職したものの…

- 実際現場で支援を行っていくと自分の未熟さや知識のなさを実感した
- 社会人として、組織の中の人間として、人間関係や仕事内容の矛盾に悩んだ

など、誰もがさまざまな思いを抱えて仕事をしているのではないのでしょうか？

仕事をしている分野、職場は違っても、「同じ5年以下のPSWとしての悩みや想い」を皆で共有し、自らも発言をすることでPSWとしての成長につながるのではないのでしょうか。また皆で語り合うことで少しでも気持ちが楽になり、明日から前向きに仕事に向き合い、自らの「理想」に近づいていけるような企画にしたいと思います。

全国の仲間と一緒に元気になって帰りましょう。

### I-③ 権利擁護ワークショップ

**グループワーク（定員100名、先着順）**

【企画：財団法人日本精神保健福祉士協会 権利擁護委員会】

司会 権利擁護委員会より

グループ担当者 10名配置

定員 100名（先着順）

ご存知の通り、2006年に国連総会で採択された障害者の権利条約ですが、日本がこれをいつ、どのように批准するのかということが注目されています。条約の中には、自由権の保障、合理的配慮の必要性などが盛り込まれていますが、特に精神障害を念頭に置いた場合、どのような点が、批准していく上での焦点になるのかといった概要を共有した上で、実践的な視点で参加者と一緒に検討したいと思っています。

ワークショップでは、権利条約の条文に示されている内容に関して、事例を紹介しながら検討したいと思っています。「権利条約」と聞くと一見、難しく、日常の実践からかけ離れた印象を受けますが、私たちの実践に欠かせない重要な視点を含んでいます。精神障害者に対する支援の中で、改めて「差別」とは何か、必要とされる「合理的配慮」などについて一緒に学んでみませんか。

### I-④ チャレンジ!!ケア会議 ～ロールプレイを通して学ぶ対象者理解～ 13:00～17:00

**グループワーク（定員80名、先着順）**

【企画：静岡県精神保健福祉士協会】

※終了時間の関係上自主企画Ⅱへは30分遅れての参加となります。

司会 静岡県精神保健福祉士協会会員より

グループ担当者 10名

定員 80名（先着順 事前のお申込により10グループに分けさせていただきます）

精神障害者の地域生活支援においても「ケアマネジメント」の概念が導入され、「ケア会議」が持たれるようになりました。

ケア会議では、対象者・関係者が集まる限られた時間で、対象者は何に困っている人か（課題の明確化）、何が必要な人か（社会資源の検討・改善・開発）、また、対象者が自己表現できる雰囲気づくり、対象者が本来持っている力の回復・強化（エンパワメント）等が求められます。

しかし、実際には日々の仕事に追われて形式的な会議になっていないのでしょうか？

この自主企画では、各機関のPSWが事例検討やロールプレイを通して意見を交わすことで、改めてPSWの視点や生活者としての対象者理解について確認する場にしたいと思います。

## Ⅱ－① 拡がる精神保健福祉士の活躍の場と資格法改正の関係

パネルディスカッション (定員300名程度)

【企画：静岡県精神保健福祉士協会】 【協力：財団法人日本精神保健福祉士協会】

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1) 法改正への動きに関する経過説明      | 大塚 淳子氏 (日本精神保健福祉士協会 常務理事)              |
| 2) パネルディスカッション コーディネーター | 佐々木敏明氏 (聖隷クリストファー大学/静岡県)               |
|                         | 澤野 文彦氏 (沼津中央病院/静岡県)                    |
| パネリスト (予定)              | 開業事務所・産業保健・司法・教育領域・就労支援・自殺予防等の領域から4名程度 |

資格法改正に向けての動きが、いよいよ改正法案の国会上程を迎えることになるかと聞いています。しかし、構成員としては通信やHP以外で詳細に把握することが難しく、精神保健福祉士法のどの部分がどういう理由で改正になるのか、また改正の影響などがわかりにくいまま法改正がありそうだという事のみ伝わってきています。さらに、精神保健福祉士としての専門性を評価され新たな領域と言われる分野に採用され実績を積み重ね、道を切り拓こうとしている仲間達がいることを直接に実感できる機会も少なく全体化されにくいと感じます。

新たな領域と言われる分野は、実は、精神科医療機関や病院の退院支援、退院後の地域生活支援や就労支援などの領域と、当事者や家族の各ライフステージや各支援課題との関連では、つながりが大きく、単に職域拡大の話には限りません。精神保健福祉士の受ける相談支援内容が狭義の精神疾患や精神障害からメンタルヘルズ課題に至る多岐に及んできていることがなよりの証左です。

改めて、今後、精神保健福祉士に求められる専門性を考えるためにも、拡がってきた精神保健福祉士の実態を知り、変わるべきことも変わってはいけないことも含め、必要な資格のあり方等の課題などを考える機会として、今回パネルディスカッションを企画しました。

## Ⅱ－② 生活をより豊かにする手帳サービスとその在り方

講演及びシンポジウム (定員150名程度)

【企画：財団法人日本精神保健福祉士協会 精神保健医療福祉委員会】

- |           |                      |                  |
|-----------|----------------------|------------------|
| 1) 講義     | : 制度の成り立ちと手帳サービスの可能性 | 講師：調整中           |
| 2) 調査報告   | : 全国調査の中間報告          | 発表：精神保健医療福祉委員会   |
| 3) シンポジウム | : 生活を豊かにする手帳サービスとは？  |                  |
|           | コーディネーター             | : 調整中            |
|           | シンポジスト               | : 学識者・当事者・支援者を予定 |

精神障害者の生活を支援するPSWとして、精神保健福祉手帳の在り方、手帳による福祉サービスの拡充を一緒に考えませんか？

H18年10月より精神保健福祉手帳にも写真添付が求められるようになり、それに合わせて他障害に比べ不足していた障害者手帳による福祉サービスの拡充を求める声が強くなっています。

一方、障害者自立支援法の施行により、様々な福祉サービスを受けるための判定基準は、多くが「障害程度区分認定」によるものとなってきました。

今企画では、精神保健福祉手帳の成り立ちや現状の把握をもとに、私たちPSWとして「精神障害者の生活がより豊かになるため」にはどのような手帳サービスが必要かを考え、また障害者手帳の在り方等を参加者と共に検討していきたいと思っております。

障害者自立支援法における福祉サービスに比べ、障害者手帳によるサービスは交通機関や税制の減免等の社会的なものが多く、今後もそうしたサービスは求められると思っております。当委員会では今企画の検討をもとに、全国の市町村に対して調査を実施し、必要な手帳サービスの拡充を求めていきたいと考えています。

## 基調講演

2009年6月13日(土) 10:15~11:45

新しいコミュニティの創造をめざして ~私たちの立ち位置の確認~

講師 柏木 昭氏 (聖学院大学大学院教授・㈱日本精神保健福祉士協会名誉会長)

静岡大会のテーマである「新しいコミュニティの創造をめざして」、我々はどこに向かえばいいのか？専門性と社会から求められている姿、クライアントから求められている姿の狭間、さらに私たちはどうしたいのかと揺れ動く中で、~私たちの立ち位置の確認~ を副題として基調講演をして頂くことになりました。

専門性を期待されるなか、専門職であることの再確認と社会から求められている専門性や役割を確認する機会になると思います。さらに、我々は援助や支援を誰のためにおこなうのか、誰とともに行うのか、クライアントはどのように感じているのだろうか??など、改めてさまざまな「私たちの立ち位置」を確認できる基調講演になると思います。

## 特別講演

2009年6月13日(土) 12:45~13:30

「精神保健福祉医療施策の現状と課題 ~精神保健福祉士に期待すること~」(仮)

講師 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 (予定)

## 市民公開企画

2009年6月13日(土) 13:45~15:00

「地域活動を通して創造する『コミュニティ』とは？」

スペシャルゲスト 藤田 弓子氏 (伊豆の国市韮山時代劇場付属劇団(愛称:いず夢)座長)

コーディネーター 佐々木敏明氏 (聖隷クリストファー大学教授)

今大会では市民公開企画として、静岡県伊豆の国市在居で、舞台、テレビ、映画等でご活躍の藤田弓子氏をスペシャルゲストとしてお迎えします。

昨年来話題となっております、映画「ふるさとをください」では、偏見や差別意識をもつ町民達に対して、凛とした強い意思をもち、心をこめて丁寧に説得し、病院から退院をしてくる精神障害者をあたたかく受け入れる作業所の施設長を見事に演じられております。

また、伊豆の地では、芸術を通して文化振興とまちづくりに幅広く活動されております。

当日は、地域活動をされていて感じることや、映画に出演され精神保健福祉活動に対する感想や疑問、課題など、日頃わたしたちが発想しないような視点からの忌憚のないご意見がうかがえることと思います。

## 第6回 通常総会

2009年6月13日(土) 15:30~17:30

- \* 本協会の通常総会ですので、構成員は必ずご出席ください。
- \* 事前に送付する「第6回通常総会議案書」をご持参ください。
- \* 構成員は、必ず「Membership Card (会員証)」及び「会章 (会員バッジ)」をご持参ください。

## 懇親会

2009年6月13日(土) 18:00~20:00

会 場： グランシップ 10階ホール

費 用： 8,000円

懇親会では、年に1度、全国津々浦々で同じ想いを心に秘め、汗を流している同志が、ゆっくりとねぎらい合う時間を尊重しよう！をモットーに、質と量と地場産品にこだわった料理と花を添え、会費を出しても参加してみがったと言ってもらえる懇親会にしよう！と準備を進めています。

ミネラル豊富な駿河湾や遠州灘で獲れた新鮮な魚介類、温暖な気候で育まれた農産物等々、高級ホテルの一流シェフによって、大変身を遂げることを請け合い。

メインは、清水港から取り寄せたマグロを、あんな事やこんな事して、皆様に喜んでいただければと考えています。

さあ、参加したくなってきてしょう？

おいしい料理とおいしいお酒で交流を深め、

私たちから「新しいコミュニティの創造」をしてみませんか？



# 分科会・ポスターセッション

2009年6月14日(日)

## 分科会 I

9:30~11:30

### ① つながりの創造 I

座長：岡崎 茂（仙台市泉区役所）

座長：細貝 雅章（静岡県精神保健福祉センター）

- ①-1 災害時における地域精神保健福祉活動のあり方  
－「仙台市災害時地域精神保健福祉活動ガイドライン」の策定と運用－  
○平泉武志・林みづ穂（仙台市精神保健福祉総合センター）
- ①-2 精神科入院患者における自殺のリスクと自殺予防に必要な支援  
○平野みぎわ・山田素明子・河西千秋（横浜市立大学）・杉山直也（横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）
- ①-3 被害者支援におけるソーシャルワークの必要性  
－犯罪被害者の臨床・研究活動から考える－  
○大岡由佳（帝塚山大学）
- ①-4 医療観察法病棟のソーシャルワークにおける一考察  
○常増健二・原田端子・菅 優生（菊池病院）
- ①-5 医療観察法における社会復帰施設の関与の実際と課題  
－精神障害者社会復帰施設全国調査を中心に－  
○四方田清・五月女純子（千葉県精神保健福祉センター）・関口暁雄（埼玉県立精神保健福祉センター）・堀切 明（埼玉県立精神医療センター）・佐々木英司（埼玉県春日部保健所）・尾上孝文（東京都立中部総合精神保健福祉センター）・佐藤三四郎（東京福祉大学）・松田裕児（成田市社会福祉協議会）

### ② 育つ

座長：田村 綾子（社団法人日本精神保健福祉士協会）

座長：深澤 美里（静岡県）

- ②-1 精神保健福祉実践における「困難感」に関する予備的調査  
○小山友理子・中西 慎・荒木真有・竹内 葵（ヴィラはまかぜ）・藤井貴美・渡瀬 巴（三方原病院）

- ②-2 ピアスーパービジョンの実践報告 ―グループワークの技法を用いて―  
○山本真里・植木美佐（近森病院 第二分院）・西内絵里沙・藤原知子（地域生活支援センターこうち）
- ②-3 スーパービジョンがもたらしたものは ―スーパーバイザーの視点から―  
○久田真喜子・吉川公章（聖隷クリストファー大学）
- ②-4 よりよい精神保健福祉士の関わりとは？ そのために必要なことを考える  
○坂井玲菜・喜多昌恵（相談支援事業所かが）・荒田 寛（龍谷大学）

### ③ かかわりの視点を探る

座長：木太 直人（東横恵愛病院）

座長：大場 義貴（聖隷クリストファー大学）

- ③-1 相談支援専門員の役割 ―ソーシャルワーカーの視点から検証する―  
○寺井康代・喜多昌恵（相談支援事業所かが）・岩尾 貢（矢田野ファクトリー）
- ③-2 発達障害の「診断」をどうとらえるか―発達障害と診断された女性の事例から―  
○知名 孝（沖縄国際大学）
- ③-3 精神保健福祉士と精神障害当事者の関係性評価尺度  
○大谷京子（日本福祉大学）
- ③-4 家族ワークショップの実践と理論（I）―プログラム・コンテンツ論―  
○長谷川俊雄（愛知県立大学）

### ④ 実践を見つめる

座長：岩尾 貴（石川県立高松病院）

座長：宮田 仁（NTT東日本伊豆病院）

- ④-1 新規開設した精神科病院における精神保健福祉士の役割  
○土志田務（新横浜こころのホスピタル）・本白水義隆（江田記念病院）
- ④-2 精神科病院におけるソーシャルワーカーの業務の形成過程に関する研究  
―グループインタビュー調査における分析・考察―  
○岩本操（武蔵野大学）
- ④-3 宮城県内の精神科診療所における精神保健福祉士の業務実態調査  
○渡部裕一・福井由美子（原クリニック）・安保寛明（東北福祉大学）・石黒 亨（せんだんホスピタル）・小野正生（赤坂病院・赤坂クリニック）・澁谷庸起子（武者クリニック）

- ④-4 総合病院における精神保健福祉士と医療ソーシャルワーカーの業務比較を通して見えてきたもの  
—当院精神科の現状報告と精神保健福祉士の関わりから—  
○清水洋美（飯塚病院）
- ④-5 総合病院精神科における身体合併症患者の受け入れについて  
—当院精神科の現状報告と精神保健福祉士の関わりから—  
○藤田 尚・原田正美・吉田裕子・二俣裕子（菊川市立総合病院）

## ⑤ 育てる I

座長：今井 博康（北翔大学）

座長：吉川 公章（聖隷クリストファー大学）

- ⑤-1 精神保健福祉士教育におけるリフレクティング・プロセスの応用 I  
—理論的含意、方法、および実践的意義—  
○矢原隆行（広島国際大学）・壬生明日香（福山平成大学）
- ⑤-2 精神保健福祉士教育におけるリフレクティング・プロセスの応用 II  
—現場の精神保健福祉士を交えた実習の振り返り—  
○壬生明日香（福山平成大学）・矢原隆行（広島国際大学）
- ⑤-3 精神保健福祉士教育におけるリフレクティング・プロセスの応用 III  
—精神保健福祉士による支えあいのコミュニケーション—  
○光岡美里・小栢絵美・川田 恵・三根 卓（呉やけやま病院）  
壬生明日香（福山平成大学）・矢原隆行（広島国際大学）
- ⑤-4 精神保健福祉士現場実習生の成長について  
—実習事後指導におけるM-G T Aの取り組みを中心として—  
○柴田 覚（東京福祉大学）
- ⑤-5 精神保健福祉士実習教育の課題 —社会人学生に着目して—  
○杉本浩章・青木聖久・大野喜朗・二本柳覚（日本福祉大学）・森 寛之（ハーミット）

## ⑥ 暮らしを支える

座長：白石 直己（社団法人やどかりの里援護寮）

座長：水野 拓二（鷹岡病院）

- ⑥-1 地域生活の危機を24時間365日地域で支える  
○坪井めぐみ（基幹型地域生活支援センターゆう）
- ⑥-2 精神障害者地域生活支援センターはどうなったか？  
—「居場所」の意味を改めて考える—  
○下方宏明（障害者相談支援センターソシオ）

- ⑥-3 精神科長期入院者の退院に関する現象学的研究  
ーグループホームへの退院者を対象にー  
○木本達男（河田病院）
- ⑥-4 「ぴあ」によるパーソナルネットワークとソーシャルサポート  
○山田 創・上久保真理子・杉浦宗徳・佐々木育実（ぴあクリニック）
- ⑥-5 居住施設の違いによる生活支援の現状と課題  
○雪野陽子（いぬお病院）

## ⑦ さまざまな思いを実現する I

座長：宮部真弥子（和敬会 脳と心の総合健康センター）

座長：澤野 文彦（沼津中央病院）

- ⑦-1 認知症のある人とのかかわりから得たもの  
○蔭西 操（加賀市地域包括支援センター）
- ⑦-2 デイケアでの就労支援実践報告 ー「一生デイケアでいい」ー  
○備瀬恭子・平良智春・新垣 歩・屋我和菜・前原妙子（田崎病院）
- ⑦-3 就労支援施設における事例研究 Part II ー多くのことを望まなければ生きていくことはそんなに難しいことじゃないよー  
○三木良子（NPO法人 MEW）
- ⑦-4 生活訓練施設と自己効力感の関係について  
○細田昌江・善家綾子・脇田貴史（はまかぜ）
- ⑦-5 チーム医療における精神保健福祉士の役割について、長期入院者の思いをもとに考える  
○伊藤絵美（加賀こころの病院）・門田悦子（北陸ビジネス福祉専門学校）

## ⑧ まちづくり I

座長：岡部 正文（茨内地域生活支援センター）

座長：松本多加弘（ポコ・ア・ポコ）

- ⑧-1 電子メンタル相談の可能性について  
○木下隆志（関西国際大学）
- ⑧-2 山村地域への退院支援ー退院促進支援事業を活用した事例に関する考察ー  
○平野慎一郎・増田喜信（三方原病院）
- ⑧-3 精神障害者自立生活アシスタント派遣事業における取組みについて  
○安増栄恵（横浜市総合保健医療センター）

- ⑧-4 茨城県立友部病院の社会復帰活動の変遷 ―グループインタビューから―  
○高木善史・太刀川弘和・井口俊大・東野美沙・高松孝幸・土井永史（茨城県立友部病院）

## 分科会Ⅱ

12:30～14:30

### ⑨ つながりの創造Ⅱ

座長：伊東 秀幸（田園調布学園大学）  
座長：前林 勝弥（静岡市こころの健康センター）

- ⑨-1 「つながる」までの支援について～未登録ケースへの支援を通じて考える～  
○藤嶋 享（横浜市磯子区生活支援センター）・鈴木伸彦（横浜市神奈川区生活支援センター）
- ⑨-2 法定後見・保佐人としての退院促進支援について  
○齋藤義明（ライフコンビニ 大きな手）
- ⑨-3 福祉事務所の戦略的ビジネスモデルと精神保健福祉士の位置付け  
○福田育弘（舞鶴市福祉事務所・同志社大学大学院）
- ⑨-4 精神医療審査会における精神保健福祉士の役割について（第2報）  
―事務局及び有識者委員（精神保健福祉士）全国調査から―  
○四方田清（千葉県精神保健福祉センター）・篠原由利子（神戸親和女子大学）・橋本みさえ（西九州大学）
- ⑨-5 保育所園長から見る保育士に必要な精神保健福祉の知識に関する一考察  
○今川晋平・長江崇之（東北福祉大学大学院）・古川 奨（北海道医療大学大学院）・高橋真由美（一陽会病院）・阿部正孝（東北福祉大学）

### ⑩ スクールソーシャルワークの実践

座長：小関 清之（木の実町診療所）  
座長：大場 義貴（聖隷クリストファー大学）

- ⑩-1 スクールソーシャルワーク ―精神保健福祉士の専門性から―  
○西 友子（大阪樟蔭女子大学）
- ⑩-2 専門学校生に対してのスクールソーシャルワーク ―家族機能が低下した学生に対する介入事例―  
○青木 正（太田アカデミー）

- ⑩-3 スクールソーシャルワークにおける支援法の有用性 ―宮城県気仙沼市における実践から―  
○長江崇之・今川晋平（東北福祉大学大学院）・古川 奨（北海道医療大学大学院）・高橋  
真由美（一陽会病院）・阿部正孝（東北福祉大学）
- ⑩-4 スクールソーシャルワーク実践報告 ―島田市における地域モデル形成への歩み―  
○熊本 淳・渡邊里佳・長谷川彰子（ハートケアセンターこころ）・山城厚生（静岡福祉  
大学）・池谷英人（島田市教育委員会）
- ⑩-5 スクールソーシャルワーク実践におけるアセスメントシートに関する研究  
○大西 良（久留米大学）

## ⑪かかわることを見つめる

座長：柏木 一恵（浅香山病院）  
座長：吉川 公章（聖隷クリストファー大学）

- ⑪-1 精神科救急病棟での実践報告  
―精神保健福祉士の視点とかわり―  
○青木大輔・金森玲奈・鈴木伸二・勝又美智子・澤野文彦（沼津中央病院）
- ⑪-2 施設利用者の生活支援につながる理念づくり  
○木津英昭・山里美由紀（こころの風元気村）
- ⑪-3 精神保健福祉士が行う生活援助 ―継続面接を通して得られたもの―  
○箭内友子（大槻病院）
- ⑪-4 集団活動をする当事者による「自治」に関する考察  
○岡安 努（まつかぜハイツ）・岩尾 貢（矢田野ファクトリー）・荒田 寛（龍谷大学）・  
岩尾 貴（石川県立高松病院）

## ⑫ 実践の多様性

座長：木下 了丞（飯塚病院）  
座長：細貝 雅章（静岡県精神保健福祉センター）

- ⑫-1 米国におけるろう・難聴者への精神保健福祉支援に関する文献的―考察  
―言語的文化的観点から―  
○高山亨太（筑波大学大学院）・赤畑 淳（陽和病院）・稲 淳子（大阪ろうあ会館・大東  
市障害者生活支援センター）
- ⑫-2 A刑務所におけるソーシャルワーカーの取り組み  
―生活技能訓練・グループワーク実践から―  
○佐々木諭（北見赤十字病院）

- ⑫-3 電子カルテ導入による精神保健福祉士業務の変遷 —情報共有によるチーム医療の実践—  
○後藤敦子（総合心療センターひなが）
- ⑫-4 家族生活技能訓練の実践と今後の課題  
○池沢佳之・剣持慈子・小林由佳（ハートクリニックデイケア）
- ⑫-5 スリランカの精神保健福祉の現状と課題  
○石崎美奈子（桜が丘病院）

## ⑬ 育てるⅡ

座長：鈴木 慶三（高崎健康福祉大学）

座長：水野 拓二（鷹岡病院）

- ⑬-1 通信教育における精神保健福祉援助実習の課題  
—実習事前課題の取り組みに関する報告—  
○松浦啓子・小久保志乃（日本福祉医療専門学校）
- ⑬-2 養成機関における精神保健福祉援助実習指導の取り組み —3年間の成果と課題の検討—  
○超智あゆみ・金子 努（県立広島大学）
- ⑬-3 実習現場と教育現場の協働による実習指導者育成の取り組み —広島県精神保健福祉士協会 実習指導者研修会からの検証—  
○中村卓治（広島文教女子大学）・越智あゆみ（県立広島大学）・河村隆史（己斐ヶ丘病院）・田代弥生（安佐病院）・向井克仁（三原病院）・橋本圭子（広島福祉専門学校）
- ⑬-4 教育現場で「講義ノート」を用いての考察  
○宮沢和志（名古屋医専）
- ⑬-5 精神保健福祉科学生の実習前後の心理的变化とその要因  
○松本真由美（札幌心療福祉専門学校）

## ⑭ 新しい暮らしを拓く

座長：木村 雅昭（友和病院）

座長：日野 黎子（復康会）

- ⑭-1 他機関を利用した退院支援における精神保健福祉士の役割  
—精神と知的障害を併せ持つ人の退院促進支援事業を利用した事例—  
○大西絢子（有馬病院）
- ⑭-2 入院患者のアパート探し支援に関する実態把握と課題  
—当院精神保健福祉士のアンケート調査と不動産屋への聴き取り調査を行って—  
○中村江美子・前沢高志・川口真知子・松本直樹（井之頭病院）

- ⑭-3 長期入院者の「内なる思い」を引き出し支援する  
—地域交流会から見出した変化・気づき・課題—  
○城間直也（新垣病院）
- ⑭-4 慢性期病棟での退院支援プログラム —「銀行ツアー」の実践—  
○藤井菜穂子・塩入雄佑・田村真実子・橋本祐子・佐川芳朗・郷原真知子・道川内由香・  
北代 彩・佃 正信（関西青少年サナトリウム）
- ⑭-5 急性期治療病棟における退院前訪問指導実践報告  
○宮越裕治（総合心療センターひなが）

## ⑮ ささまざまな思いを実現するⅡ

座長：宮本 浩司（加茂病院）

座長：宮田 仁（NTT東日本伊豆病院）

- ⑮-1 「働きたい」を支えていく —短時間就労の支援について—  
○太田幸治（精神障がい者就労支援事業所アレビアン）
- ⑮-2 単身生活・就労継続者への支援 具体的関わり  
○岡本桂子（メンタルヘルスサポートセンター）・安保律子（自立訓練あんしん）
- ⑮-3 訓練等給付事業の施行に伴う課題  
○古川 奨（北海道医療大学大学院）
- ⑮-4 グループ法律相談会「行列ができるかもしれない法律相談会」から学んだこと  
○篠原宏江・三橋良子・岡村眞佐江・杉村幸信・望永和美・戸室映太（百合丘地域生活支援センター）・池原毅和（東京アドボカシー法律事務所）
- ⑮-5 なごや精神障がい者バレーボールを広める会の活動  
○砂田雄次（北メンタル・クリニック）・新井康弘（北・西障害者地域生活支援センター）・  
増田剛治（熱田・港障害者地域生活支援センター）・則竹史子（瑞穂・天白障害者地域生活支援センター）・荒賀博志（名古屋市障害者スポーツセンター）

## ⑯ まちづくりⅡ

座長：廣江 仁（養和会）

座長：小澤 崇代（田方・ゆめワーク）

- ⑯-1 地域における合意形成のプロセスと課題  
—PFⅠ方式による社会復帰促進センターの役割を通して—  
○野村恭代（帝塚山大学）
- ⑯-2 地域資源を生かした、新たなる就労支援の取り組み  
○岩崎諭史（ぴあ三浦）・高橋治子（三浦うしお作業所）



# 参加・宿泊・昼食・視察旅行のご案内

～歓迎のご挨拶～

拝啓

来る、6月12日(金)～6月14日(日)の3日間、静岡県静岡市において、「第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第8回日本精神保健福祉学会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会が開催されるにあたり皆様方のご参加、宿泊、昼食、視察旅行等のお世話を弊社にご用命賜り厚く御礼申し上げます。

本總會のご成功をお祈りすることはもとより、社員一同すべての面において万全の準備のもと、皆様方に心からご満足いただけますよう一生懸命お世話させていただき所存でございます。心より皆様方のお越しをお待ち申し上げます。

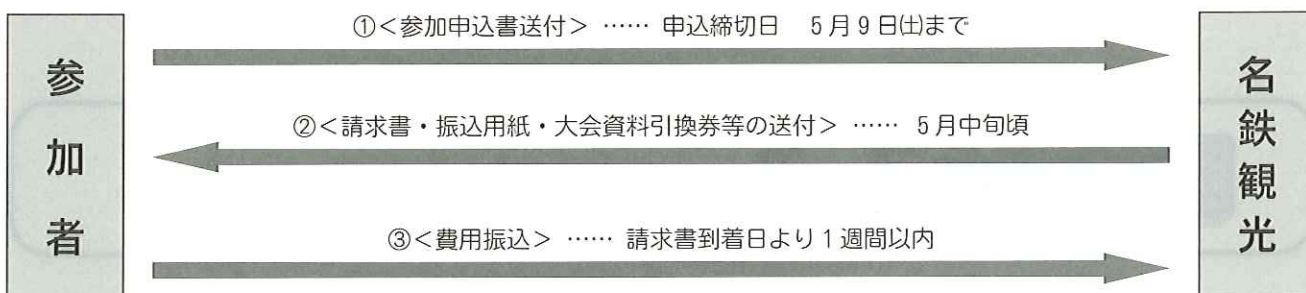
敬具

名鉄観光サービス株式会社  
静岡支店 支店長 善行地 潔

## 1 お申込み方法のご案内

「第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第8回日本精神保健福祉学会」の「参加・宿泊・昼食・視察旅行等のご案内」をご熟読いただき、巻末の「申込書」の所定欄に必要事項をご記入の上、お申込みください。

(送付の際は、必ず原本の控え(コピー)を保管するようにしてください。)



<備考>

- 参加申込締切日は5月9日(出)とさせていただきます。ご希望宿泊ホテル、自主企画、分科会につきましては受付順とさせていただきます。お早めにお申込みください。
- 大会参加お申込み後の参加取消や大会当日欠席の場合、参加費の返金はいたしません(懇親会も同様の取り扱いとなります)。ただし、大会終了後「大会資料引換券」を大会事務局にご送付いただければ、大会資料を送付いたします。
- 変更・取消のご連絡につきましては、原本のコピーを訂正の上必ずFAXにて名鉄観光サービス(株)静岡支店へご連絡ください。
- 大会資料引換券等の各種利用券・請求書・振込用紙を一括して5月中旬頃に送付いたします。振込につきましては所定の「振込用紙」をご利用ください。なお、領収書につきましては振込用紙の控えをもってかえさせていただきます。振込手数料は、申込者負担とさせていただきますので予めご了承ください。

- ⑩-3 精神科病院と小規模通所授産施設の交流会の実践から  
○小西尚子（地域活動支援センターちのくらぶ）
- ⑩-4 特別養護老人ホームの小規模化ならびに地域展開に伴う利用者の生活の変化  
○高村智子（サンライフたきの里）
- ⑩-5 近隣苦情に対する対応マニュアルの作成と地域支援体制整備  
○石井健二・羽原孝子・水澤千鶴子・小山恵子（神奈川県厚木保健福祉事務所）

## ポスターセッション

9:30~11:30

- 1 デンマークの生き方・考え方  
○荒牧和希（東京都視覚障害者生活支援センター）・杉山 昇（NPO法人都市住宅とまちづくり研究会）
- 2 初任者及び若手の援助者に必要な学びの態度について  
—自主研修活動KUPAの運営課題を通して—  
○末崎政晃（KUPA）・石橋香織（松岡病院）・牟田恵利子（乙金病院）・大西 良（久留米大学）
- 3 精神科デイケアに勤務する精神保健福祉士の賃金に対する意識  
—経験年数7年未満の精神保健福祉士への調査から—  
○富澤宏輔（大阪人間科学大学）

※演題・所属等については平成21年3月1日現在のものを記載してあります。

## 国際委員会ブース

2009年6月14日(日)

日本精神保健福祉士協会は、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）に加盟しており、世界のソーシャルワーカーたちとつながっています。今日のグローバル化する世界の中で、日本のソーシャルワーカーも国際的な視野をもつことがますます求められるようになってきています。

今回、本協会国際委員会は、大会会場にIFSW及び国際委員会の活動を紹介するブースを設けることにしました。写真上映やパネル展示などを通じて、ソーシャルワークの世界的な広がりを体感していただければ幸いです。みなさんお気軽にご来場ください。

### 3 宿泊のご案内

本大会開催にあたり皆様方のご宿泊に静岡市内の宿泊施設をご用意しております。

○宿 泊 日：平成21年6月11日(休)・12日(金)・13日(土)

宿泊条件：1泊朝食付、サービス料・税金込み

※補助金申請の関係から宿泊はできるだけ、裏面の申込書を利用してお申し込みください。

また、別途個人的に宿泊をされた方は、宿泊証明書（別紙様式を参加受付後送付いたします。）の提出をご協力お願いします。

ホテル クラス	地図 番号	ホ テ ル 名	最 寄 駅	シングル		ツイン	
				申込記号	料 金	申込記号	料 金
Sクラス	1	ホテルセンチュリー静岡	J R静岡駅	S-S	¥14,000	S-T	¥11,000
	2	ホテルアソシア静岡	J R静岡駅				
Aクラス	3	静岡北ワシントンホテルプラザ	J R静岡駅	A-S	¥11,000	A-T	¥10,000
	4	ホテルクエスト清水	J R清水駅				
Bクラス	5	シーグランデ清水ステーションホテル	J R清水駅				
	6	清水シティホテル	J R清水駅				
	7	ホテルサンルート清水	静鉄・新清水駅	B-S	¥10,500	B-T	¥9,500
	8	ホテルアーバント静岡	J R静岡駅				
	9	ピスタホテル清水	J R清水駅				
Cクラス	10	静岡第一ホテル	J R静岡駅				
	11	静岡パークホテル	J R静岡駅				
	12	静岡キャッスルホテル佐乃春	J R静岡駅				
	13	静岡タウンホテル	J R静岡駅	C-S	¥9,500	C-T	¥9,000
	14	ホテルブリヴェ静岡ステーション	J R静岡駅				
	15	ホテル盛松館	J R静岡駅				
	16	静岡グランドホテル中島屋	J R静岡駅				
Dクラス	17	しずおかロイヤルホテル	J R静岡駅				
	18	清水プラザホテル	J R清水駅				
	19	サンパレスホテル	J R静岡駅				
	20	ホテルシティオ静岡	J R静岡駅				
	21	ホテルエックスシズオカ	J R静岡駅				
	22	アーバントイン静岡	J R静岡駅				
	23	ホテルサンポート	静鉄・新清水駅	D-S	¥8,500	D-T	¥8,000
	24	ホテルオーク静岡	J R静岡駅				
	25	静岡ユーアイホテル	J R静岡駅				
	26	静岡オレンジホテル	J R静岡駅				
	27	アセントプラザホテル静岡	J R静岡駅				
	28	ベイホテル入船館	J R清水駅				
	29	ホテルときわ駅南店	J R清水駅				
	30	静岡ビクトリアホテル	J R静岡駅				

【行程】初日：自宅又は前泊地→静岡（泊）（食事×××）／最終日：静岡→自宅又は後泊地（食事〇××）移動、各自にて

※東静岡～清水間の所要時間はJRで約10～15分、片道230円です。

※東静岡～静岡間の所要時間はJRで約5～10分、片道180円です。

#### 【ご注意】

- ①相部屋（ツイン）をご希望の方は同室者名を必ずご記入下さい。ご記入が無い場合、弊社にて部屋割りをさせていただきます。
- ②申込み受付順に宿泊手配をいたしますので、ご希望のホテルが満室の場合は、他の施設・クラスに変更させていただきます。
- ③連泊のお申込みで、連絡無しに1泊目のお泊りがなかった場合、2日目以降の宿泊を取消させていただきますので、予めご了承下さい。
- ④お申し込みいただきました宿泊施設決定のご案内は、各種利用券と共に発送いたします『宿泊券』にて、内容をご確認ください。  
※5月中旬発送予定です。
- ⑤ホテルによっては、朝食がパン・コーヒー等の軽食となる場合もございます。

## 2

## 参加のご案内

## 参加費

大会・学会

(A) 構成員 8,000円 (当日 10,000円)

(B) 非構成員 10,000円 (当日 12,000円)

(C) 学生 5,000円 (当日 6,000円)

自主企画 2,500円

懇親会 8,000円

事務費用 525円

※お申し込み期日を過ぎた場合は、当日参加扱いになります。

※該当する記号と金額を申し込み用紙にご記入ください。

※事務費用は参加者への通信費、発送費などの必要経費です。

○申込先……………名鉄観光サービス(株)静岡支店

○申込締切日……………5月9日(土)

## ★注意

お申し込み後(5月9日以降)の参加取消しや大会当日欠席の場合、参加費は返金致しません。(懇親会も同様の取扱いとなります。)但し大会資料は後日送付させていただきます。

分科会の参加希望は第2希望までご記入ください。

なお、人数により調整させていただくこともありますのでご了承ください。

## 6月12日(金) 自主企画 I

申込記号	タイトル	時間	定員
I-①	シンポジウム [PSWでありつづけるために]	13:00~16:00	250名
I-②	グループワーク [理想と現実のはざままで]	13:00~16:00	80名
I-③	グループワーク [権利擁護 ワークショップ]	13:00~16:00	100名
I-④	グループワーク [チャレンジ!! ケア会議]	13:00~17:00	80名

※自主企画I-④に参加される方は、自主企画IIには時間の関係上遅れての参加となりますのでご注意ください。

## 6月12日(金) 自主企画 II

申込記号	タイトル	時間	定員
II-①	パネルディスカッション [拡がる精神保健福祉士の活躍の場と資格法改正の関係]	16:30~18:30	300名
II-②	シンポジウム [生活をより豊かにする手帳サービスとその在り方]	16:30~18:30	150名

## 6月14日(日) 分科会 I・II

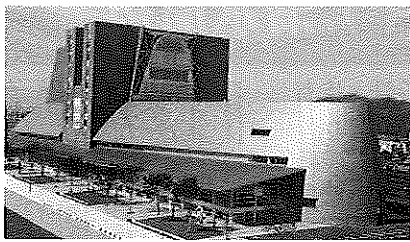
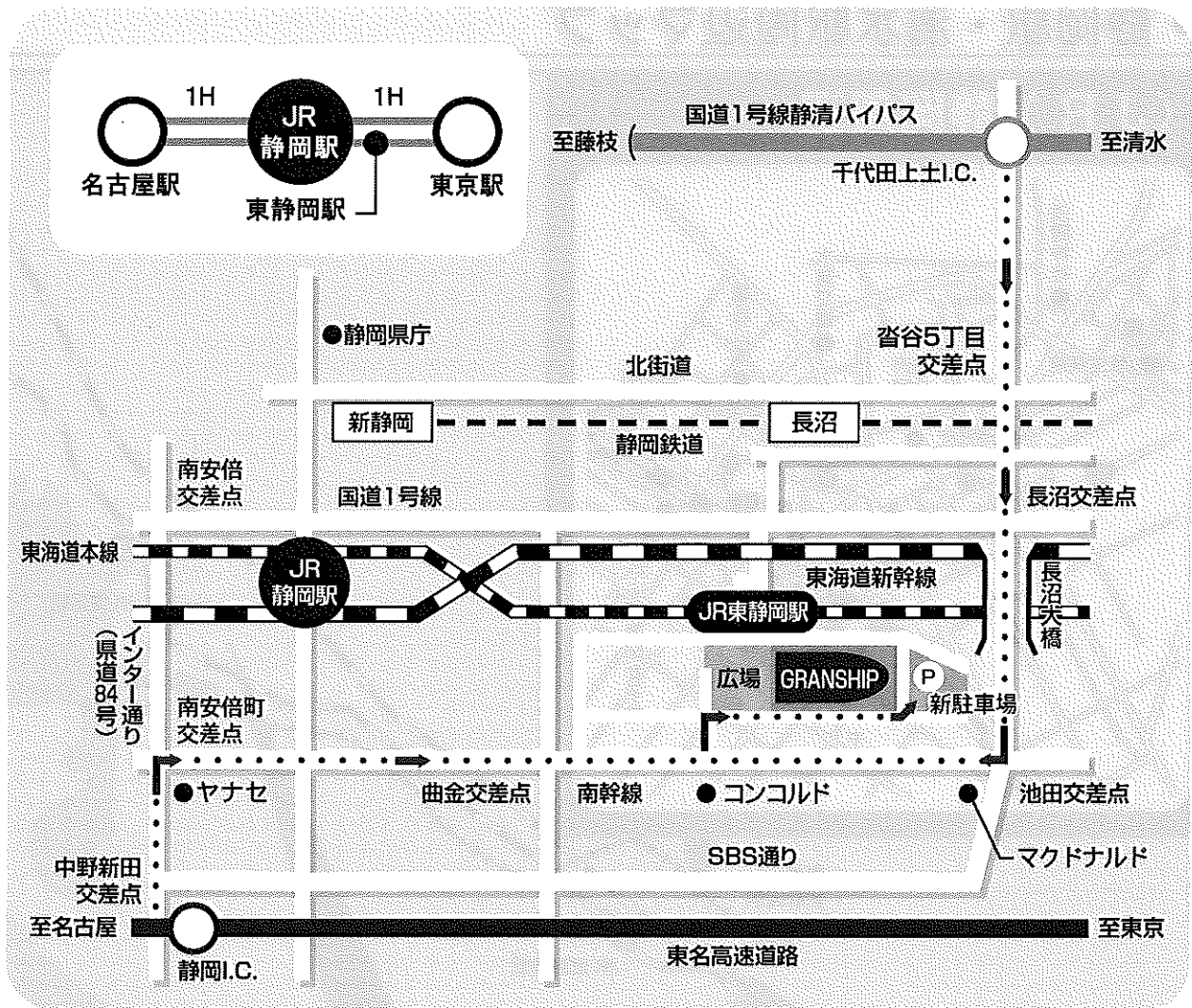
分科会 I 9:30~11:30

申込記号	タイトル
I-①	つながりの創造 I
I-②	育つ
I-③	かかわりの視点を探る
I-④	実践を見つめる
I-⑤	育てる I
I-⑥	暮らしを支える
I-⑦	さまざまな思いを実現する I
I-⑧	まちづくり I

分科会 II 12:30~14:30

申込記号	タイトル
II-⑨	つながりの創造 II
II-⑩	スクールソーシャルワークの実践
II-⑪	かかわることを見つめる
II-⑫	実践の多様性
II-⑬	育てる II
II-⑭	新しい暮らしを拓く
II-⑮	さまざまな思いを実現する II
II-⑯	まちづくり II

## 5 交通アクセス



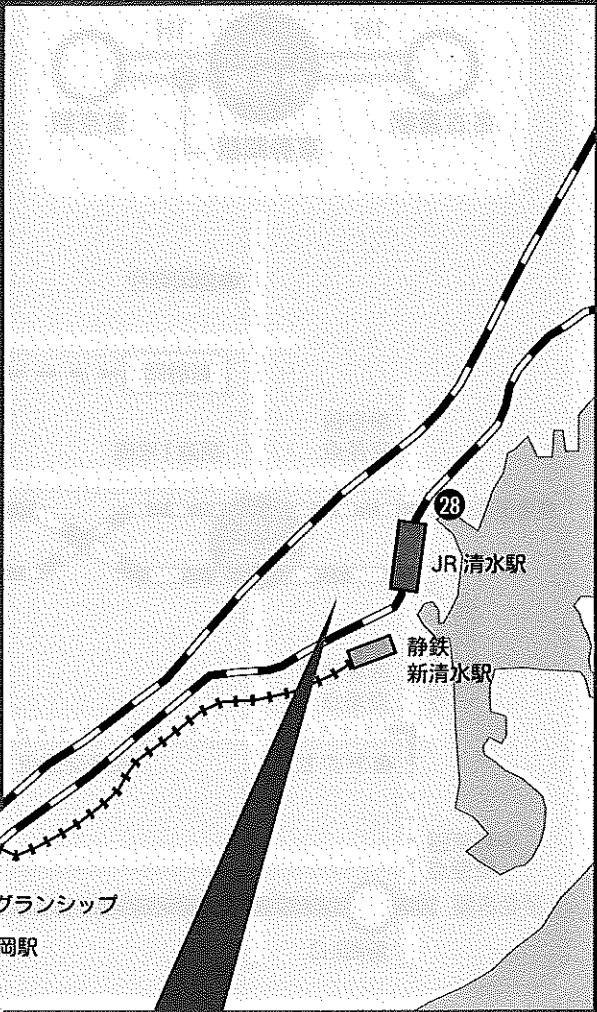
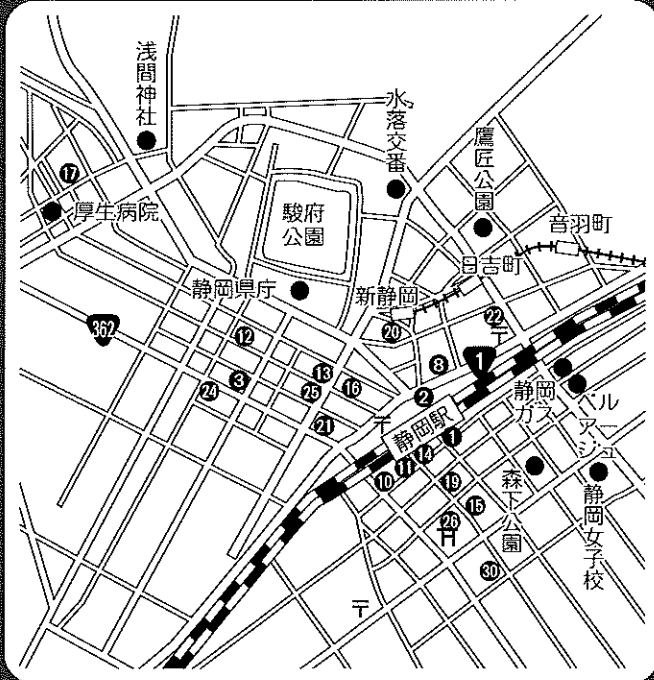
### 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田 79-4  
 TEL 054-203-5710 (代表) FAX 054-203-5716  
<http://www.granship.or.jp/>

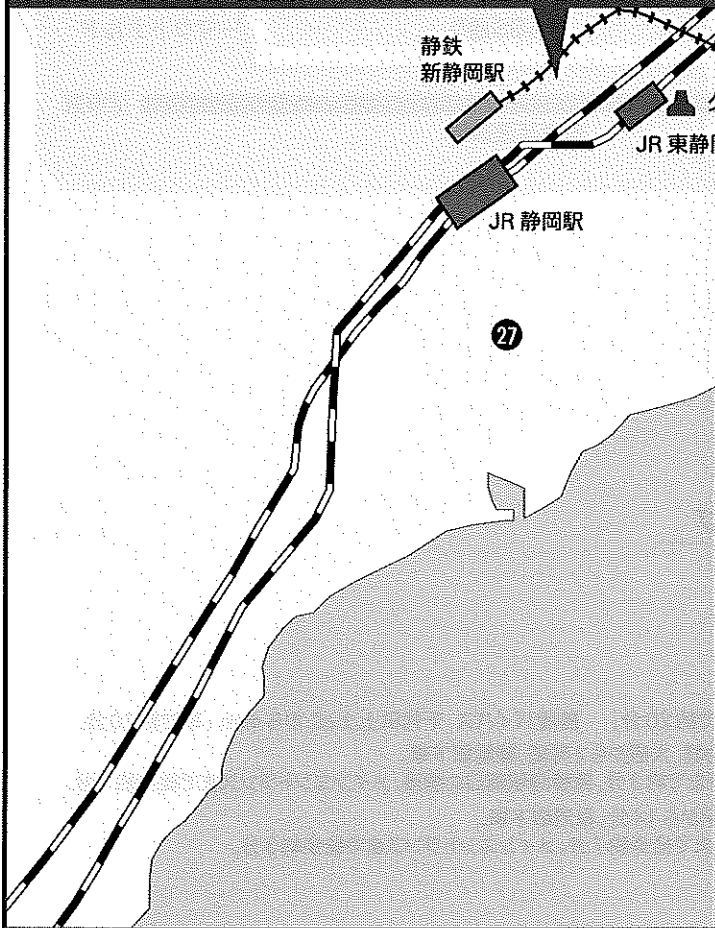
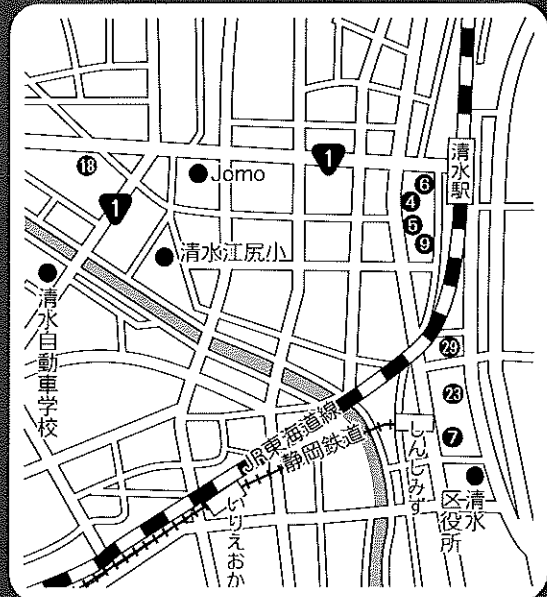
- お車でお越しの場合 東名高速道路 静岡I.C.から6km、車で約20分。 静岡バイパス 千代田上土I.C.から4km、車で約10分。
- JRをご利用の場合 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。静岡駅下車。  
東海道本線上り方面に乗換、東静岡駅まで約3分。東静岡駅南口に隣接、メインエントランスまで徒歩約3分。
- 静鉄をご利用の場合 静岡鉄道 新静岡駅から6分、新清水駅から14分。長沼駅下車。  
JR東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分。メインエントランスまで徒歩約3分。

● 静岡駅・清水駅周辺マップ

(JR) 静岡周辺



(JR) 清水周辺



## 8 国内旅行総合保険のご案内

大会期間中の安全対策には万全を期されていることは存じますが、より安心してご参加いただくために任意保険のご案内をさせていただきます。

この保険は、大会期間中や往復の移動中の事故、窃盗など万一の時の被害に対する思わぬ出費を補償する保険です。参加者の皆様方がより安心してお過ごしいただくためにご加入をお勧めいたします。

### ■補償額一覧表（保険料：お一人様1,000円）

死亡・後遺障害	1,241万円	携行品	10万円
入院日額	12,000円	救護者費用	50万円
通院日額	6,500円		
賠償責任（免責：1,000円）	3,000万円		

※この保険によって補償される期間（保険期間）は、平成21年6月11日（木）午前0時から6月14日（日）夜12時までで、かつ本大会にご参加のためにご自宅をご出発されてからご帰宅までとなります。（保険期間であっても、一度帰宅した後に別の目的で再び出かけた場合は補償の対象とはなりません。）

※視察旅行にご参加の皆様方は、視察旅行代金に旅行期間分の国内旅行総合保険料が含まれております。

## 9 変更・取消のご案内

宿泊等、参加お申込み後の変更・取消をされる場合は、お早めにご連絡をお願い申し上げます。尚、変更・取消の時期によっては、取消料が必要となりますので予めご了承ください。

### ■取消料 ※ お客様の都合による変更の場合も申し受けることがございます。

取消日 取消の種別	21日前まで	20～8日前	7～2日前	前日	当日	無連絡
大会参加費	参加お申込み後の大会参加費はご返金いたしません。					
取消日 取消の種別	21日前まで	20～8日前	7～2日前	前日	当日	無連絡
宿泊	無料	20%	30%	40%	50%	100%
昼食	無料	無料	無料	50%	100%	100%
視察旅行	11日以前	10～8日前	30%	40%	50%	100%
	無料	20%				

※参加お申込み後の大会参加費のご返金はいたしませんのでご了承ください。

※取消の基準日は、郵便局の消印または当社の営業日・営業時間内のFAX通信を有効といたしますので、必ず文書にてご連絡ください。

※取消後の返金につきましては、大会終了後、取消料及び所定の振込手数料を差引の上、ご指定の口座へ送金いたします。なお、事務整理上、多少の日数がかかりますので予めご了承ください。（返金時の貴行口座番号を申込書内の所定欄にご記入ください。）

## 6 参加のご案内

ご希望により皆様方のご昼食（お弁当・お茶）をご用意いたします。

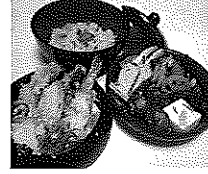
ア  
(駿河弁当)



イ  
(静岡幕の内弁当)



ウ  
(ウイングハート弁当)



(限定数50)

- 6月13日(出) ..... 1,000円 (税込)
- 6月14日(日) ..... 1,000円 (税込)

※会場付近にはお食事場所が殆どございません。

※昼食は、予約制とさせていただきます。

※お弁当は、昼食引換券と交換となります。昼食引換券（後日送付）を必ずご持参ください。

## 7 視察旅行のご案内

本大会終了後、視察旅行をご用意いたしました。駿河の歴史・自然・食をお楽しみいただけるコースです。お問い合わせの上、駿河路の旅をご満喫くださいませ。

### 視察旅行（団体ツアー／貸切バス利用・添乗員同行）



**焼津さかなセンターと景勝地・日本平観光**

【申込記号A】お一人様旅行代金 **3,000円**

月日(曜)	行程
6月14日 (日)	グランシップ前====焼津さかなセンター（お買い物）==== 15:00頃 ====日本平（富士山を望む景勝地）==== J R 静岡駅 18:00頃

■添乗員同行します ■最少催行人員：35名



**富士宮・白糸の滝と浅間大社散策**

【申込記号B】お一人様旅行代金 **4,000円**

月日(曜)	行程
6月14日 (日)	グランシップ前==天下の名瀑「白糸の滝」見学== 15:00頃 ※話題の富士宮焼きそばのお店も周辺にございます。 ==富士宮浅間大社（本宮の境内は17,000坪）== J R 新富士駅 19:00頃

■食事条件：なし ■添乗員同行します ■最少催行人員：35名

【視察旅行の旅行条件】

○旅行費用には、記載された貸切バス等の交通費、食事代、拝観入場料、国内旅行総合保険、添乗員経費、消費税等が含まれます。

○各コースとも添乗員が同行します。

○各コースとも参加申込者が30名に満たない場合は、旅行催行を中止することがございます。

○旅行行程は、交通事情など当社の管理できない事由により変更になる場合がございます。

○この旅行は名鉄観光サービス㈱が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。



# 主催・協力・後援機関一覧

主催 (社)日本精神保健福祉士協会

協力 (社)日本精神保健福祉士協会静岡県支部  
静岡県精神保健福祉士協会

## 後援 (予定)

厚生労働大臣 舩添要一 / 静岡県 / 静岡市 / 浜松市 / (社)日本精神科病院協会 / (社)日本精神神経科診療所協会 / (社)日本精神科看護技術協会 / (財)日本精神衛生会 / 日本病院・地域精神医学会 / (社)日本作業療法士協会 / 日本障害者協議会 / 日本障害フォーラム / (財)日本障害者リハビリテーション協会 / (NPO) 障害者インターナショナル日本会議 / (財)全国精神障害者社会復帰施設協会 / (NPO) 全国精神障害者地域生活支援協議会 / (NPO) 全国精神障害者団体連合会 / (NPO) 全国精神保健福祉会連合会 / (NPO) 地域精神保健福祉機構・コンボ / (社)日本てんかん協会 / きょうされん / (財)全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会 / 全国精神保健福祉相談員会 / (NPO) 日本ソーシャルワーカー協会 / (社)日本社会福祉士会 / (社)日本医療社会事業協会 / (社)日本介護福祉士会 / 全国救護施設協議会 / (社)日本社会福祉教育学校連盟 / ソーシャルケアサービス従事者研究協議会 / 日本精神保健福祉士養成校協会 / (社)日本精神神経学会 / 有限責任中間法人日本総合病院精神医学会 / (社)全国自治体病院協議会 / 全国保健・医療・福祉心理職能協会 / 日本児童青年精神医学会 / 日本集団精神療法学会 / 日本精神保健看護学会 / 日本臨床心理学会 / 日本デイケア学会 / 国立精神医療施設長協議会 / 全国精神保健福祉センター長会 / (社)全国老人保健施設協会 / (NPO) 全国認知症グループホーム協会 / S S T 普及協会 / (社)日本精神保健福祉連盟 / 日本精神障害者リハビリテーション学会 / 日本職業リハビリテーション学会 / (社)認知症の人と家族の会 / 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 / (NPO) 日本ボランティアコーディネーター協会 / (財)社会福祉振興・試験センター / (財)福祉新聞社 / (社)成年後見センター・リーガルサポート / (財)全日本手をつなぐ育成会 / (財)日本知的障害者福祉協会 / (社)全国老人福祉施設協議会 / 日本弁護士連合会 / (財)中央共同募金会 / 国民医療推進協議会 / 日本発達障害ネットワーク / 日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会 / 静岡県精神科病院協会 / 静岡県精神保健協会 / (財)静岡県社会福祉協議会 / (財)静岡市社会福祉協議会 / 静岡県社会福祉士会 / 静岡県医療ソーシャルワーカー協会 / 静岡県精神障害者社会復帰施設連絡協議会 / (NPO) 静岡県作業所連合会・わ / (社)静岡県精神保健福祉会連合会 (もくせい会) / (社)静岡県看護協会 / (社)日本精神科看護技術協会静岡県支部 / 一般(社)静岡県介護福祉士会 / (社)日本作業療法士協会静岡県士会 / 静岡県臨床心理士会 / 静岡県ソーシャルワーカー協会 / 静岡県精神神経科診療所協会 / 静岡県精神障害者福祉施設連絡会 / (社)静岡県医師会 / (社)静岡市静岡医師会 / (社)静岡市清水医師会 / 静岡県精神科デイケア研究協議会 / (社)静岡県断酒会 (順不同)

## (社)日本精神保健福祉士協会 事務局

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F

電話：03-5366-3152 FAX：03-5366-2933

E-mail office@japsw.or.jp URL http://www.japsw.or.jp

## 全国大会・学会事務局 NPO法人ウイング・ハート (担当 小柳)

〒420-0812 静岡市葵区古庄6-14-17

事務局電話：080-6670-4947 (専用電話)

E-mail shizuoka-congress09@tenor.ocn.ne.jp

## 分科会問合せ先 榛原総合病院 患者支援センター (担当 菅原)

〒421-0493 静岡県牧之原市細江2887-1 榛原総合病院患者支援センター気付

専用電話：080-1615-3667 (17時過ぎ希望)

## 10

## その他のご案内 ※お申込み前に必ずお読み下さい。

### ●募集型企画旅行契約

本大会の「宿泊・昼食・視察旅行」は名鉄観光サービス㈱が旅行企画・実施するものであり、お申込みいただくお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたします。

★契約の内容・条件につきましては、お申込み前に当社の店頭またはホームページでもご確認いただけます。

名鉄観光ホームページ (<http://www.mwt.co.jp>) ⇒ご利用案内 (TOPページ最下部) ⇒  
⇒運営、約款、条件書等について⇒ [ご旅行条件書 \(国内・募集型企画旅行の部\)](#)

※大会運営につきましては、(株)日本精神保健福祉士協会の主催行事となります。

### ●最少催行人員について

「宿泊」・「昼食」は各プラン1名様、「視察旅行」は各コース35名様を最少催行人員といたします。

### ●添乗員について

視察旅行は全コースとも添乗員が同行いたします。その他、宿泊・昼食につきましては添乗員は同行いたしません。

### ●個人情報の取扱いについて

名鉄観光サービス㈱は、お申込みの際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡のためや、輸送・宿泊等の各関係機関の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催者事務局に名簿作成等の目的により提供いたします。それ以外の目的でご提供いただく個人情報は利用いたしません。

★上記の他、当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。

名鉄観光ホームページ (<http://www.mwt.co.jp>) ⇒ご利用案内 (TOPページ最下部) ⇒  
⇒運営、約款、条件書等について⇒ [個人情報保護方針、個人情報保護の対応について](#)

## 11

## 申込書送付先



静岡支店

〒422-8067 静岡市駿河区南町18-1 8F  
TEL054-286-5681 FAX054-286-8190

(株)日本旅行業協会正会員  
国土交通省大臣登録旅行業第55号

#### ■営業時間

月～金 09:00～18:00  
土・日曜日・祝日は休ませて頂きます。